



令和2年3月25日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス
代表者 代表取締役会長 三吉野 健滋
(東証マザーズ・コード番号 3782)
問合せ先 経営管理部 部長 小野寺 光広
電話番号 052-955-5720
(URL <http://www.dds.co.jp>)

(訂正・数値データ訂正)「令和元年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正について

当社は、令和2年2月14日16時に開示した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

1. 訂正の理由

「令和元年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正事項のみ表示し、訂正箇所は_____線を付しております。

2-1 決算短信サマリー

1. 令和元年12月期の連結業績(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

(1)連結経営成績

【訂正前】

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
元年12月期	0.56	0.56	1.5	△13.9	△14.1
30年12月期	△22.60	—	<u>△61.1</u>	△4.5	5.1

(参考) 持分法投資損益 元年12月期 — 百万円 30年12月期 — 百万円

【訂正後】

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
元年12月期	0.56	0.56	1.5	△13.9	△14.1
30年12月期	△22.60	—	<u>△64.1</u>	△4.5	5.1

(参考) 持分法投資損益 元年12月期 — 百万円 30年12月期 — 百万円

2-2 P3 ②キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加による減少 147 百万円などにより資金が減少し 60 百万円の支出(前年同期は 67 百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の取得による支出 54 百万円、貸付による支出 66 百万円などがあったため、358 百万円の支出(前年同期は 617 百万円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成28年12月期	平成29年12月期	平成30年12月期
自己資本比率 (%)	<u>72.2</u>	75.7	77.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	<u>718.1</u>	1294.8	<u>663.70</u>

【訂正後】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加による減少 145 百万円などにより資金が減少し 121 百万円の支出(前年同期は 67 百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の取得による支出 54 百万円、貸付による支出 66 百万円などがあったため、358 百万円の支出(前年同期は 477 百万円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成29年12月期	平成30年12月期	令和元年12月期
自己資本比率 (%)	75.7	77.4	<u>78.7</u>
時価ベースの自己資本比率 (%)	1294.8	<u>663.7</u>	<u>729.8</u>

2-3 P6 ⑤その他のリスク

【訂正前】

イ. 新株予約権について

当社グループでは、株主価値の向上を意識した経営の推進を図るとともに、役職員の業績向上に対する意欲や意識を一層高める目的として、当社役員及び従業員並びに社外部協力者に対して新株予約権を付与しております。発表日現在、新株予約権による潜在株式数は 2,660,000 株であり、発行済株式総数 41,790,300 株の 5.9%に相当しております。これらの新株予約権が権利行使された場合は、1 株あたりの株式価値が希薄化する可能性があります、将来における株価形成へ影響を及ぼす可能性があります。

【訂正後】

イ. 新株予約権について

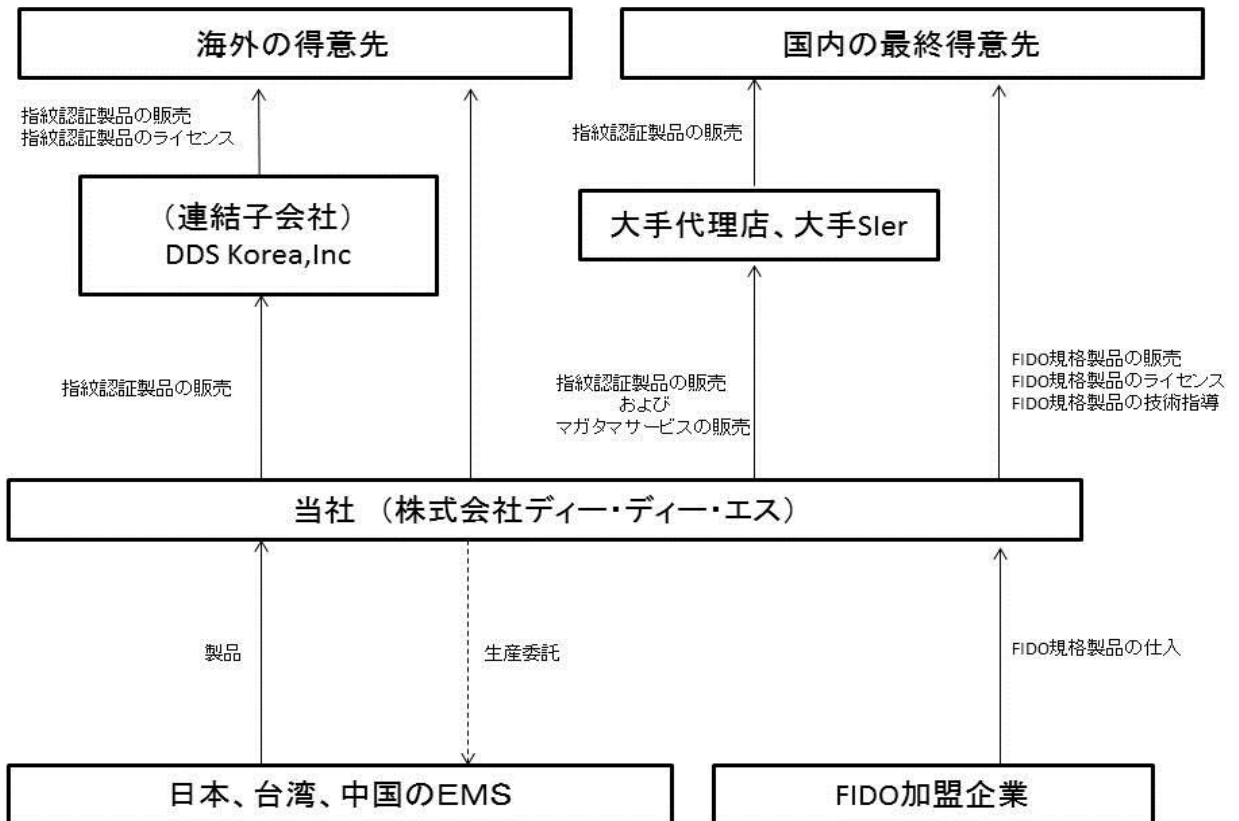
当社グループでは、株主価値の向上を意識した経営の推進を図るとともに、役職員の業績向上に対する意欲や意識を一層高める目的として、当社役員及び従業員並びに社外部協力者に対して新株予約権を付与しております。発表日現在、新株予約権による潜在株式数は 2,660,000 株であり、発行済株式総数 41,790,300 株の 6.4%に相当しております。これらの新株予約権が権利行使された場合は、1 株あたりの株式価値が希薄化する可能性があります、将来における株価形成へ影響を及ぼす可能性があります。

2-4 P7 2. 企業集団の状況

【訂正前】

当社グループは、当社（株式会社ディー・ディー・エス）及び子会社1社（DDS Korea, Inc.）で構成されており、指紋認証機器（UBFシリーズ）の設計、開発、生産、販売を主たる事業としております。生産については、ファブレス企業であり、日本及び台湾及び中国のEMS（Electric Manufacturing Service）に生産委託を行っており、当社は生産管理、品質管理を行っております。

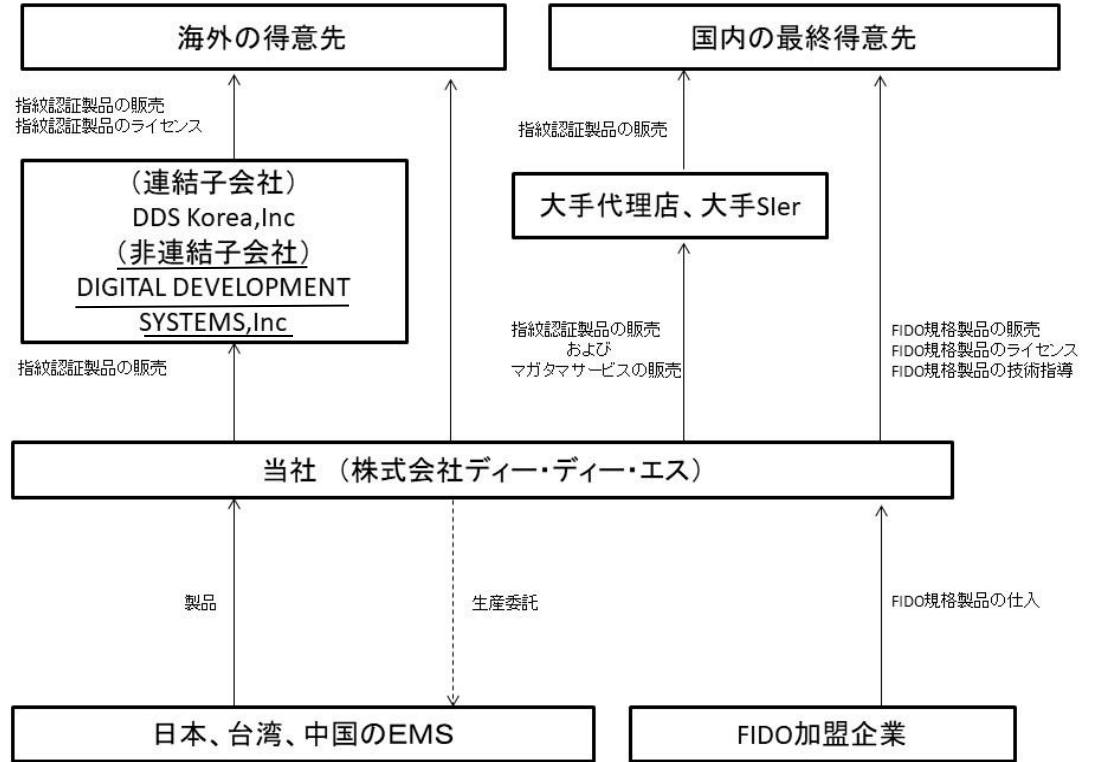
当社グループの状況を事業系統図に示すと次のとおりです。



【訂正後】

当社グループは、当社(株式会社ディー・ディー・エス)及び子会社2社(DDS Korea, Inc. 及びDIGITAL DEVELOPMENT SYSTEMS, Inc.)で構成されており、指紋認証機器(UBFシリーズ)の設計、開発、生産、販売を主たる事業としております。生産については、ファブレス企業であり、日本及び台湾及び中国のEMS(Electric Manufacturing Service)に生産委託を行っており、当社は生産管理、品質管理を行っております。

当社グループの状況を事業系統図に示すと次のとおりです。



以上